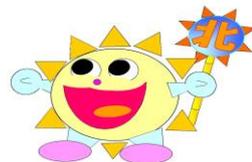


浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和2年 11月号

「日々の積み重ねを生きる力に」

10月9日に1～4年生は校外学習を予定していましたが、残念ながら雨天により中止となりました。しかしながら各学年で「交流を通し互いの良さを知り、つながりを深める」というねらいのもと、ご家庭の温かな思いがつまったお弁当を食べ、学年で計画をした交流活動を行うなど、子どもたちは楽しいひとときを過ごすことができました。

5年生は9・10日に野外教育活動を実施しました。当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策と台風14号の接近による天候悪化という状況の中でしたが、担任3名の「子どもたちの心に残る2日間を」という思いが実を結び、かけがえのない2日間となりました。子どもたちは天候により計画が変更になっても、「燃やせ 友情の炎、輝け 僕らの笑顔」というめあてに立ち返り、落ち着いた態度で今できることに集中して取り組みました。また、食事時には時間に制限のある中、手洗い、消毒をすばやくきちんと行い、挨拶をして静かに会食をする姿に本当に感心しました。



一方、レクリエーションやキャンプファイヤーでは全身で感情を表し、それぞれの係の役目も臨機応変に工夫しながら伸び伸びと楽しんでいました。

6年生は21・22日に修学旅行に出かけました。小学校生活最後の泊を伴う行事を、子どもたちの心に残る充実したものにしようと、担任3名は知恵を絞り、綿密に計画を立てました。天気にも恵まれ、日程も無理なく、充実した2日間の旅となりました。「ちぢめよう 心のきより 輝かそう 仲間とのきずな」という合言葉のもと、子どもたちはソーシャルディスタンスを守り、互いを気遣いながら熱心に見聞を深め交流する姿が印象的でした。また、修学旅行が実施できたことに感謝をし、行く先々でお世話になる添乗員さん、バスの運転手さん、ガイドさん、旅館の方々に礼儀正しい態度で感謝の気持ちを伝えることができ、お褒めの言葉をいただきました。



平生往生という言葉がありますが、こうした子どもたちの姿は、まさに日頃学校で行っていることの積み重ねが形として現れたものでした。どこへ行っても、大切にすべきことを忘れず、いつも通りに行えることは、自分のみならず他者をも幸せにし、また、生きる力につながると感じました。

平素往生という言葉がありますが、こうした子どもたちの姿は、まさに日頃学校で行っていることの積み重ねが形として現れたものでした。どこへ行っても、大切にすべきことを忘れず、いつも通りに行えることは、自分のみならず他者をも幸せにし、また、生きる力につながると感じました。

学校の教育活動をご理解いただき、送り出してくださったご家庭の皆様にご感謝申し上げます。今後も温かなご支援ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

11月7日(土)は運動会です。子どもたちは、ご家庭の皆様にご精いっぱい姿を披露しようと日々練習に励んでいます。どうぞ、ご期待ください。

